

## 令和元年度第3回小林市地域公共交通会議・地域公共交通活性化協議会 会議要旨

開催日時：令和2年2月14日（金） 14時00分～15時30分

開催場所：小林市役所 第1別館大会議室

出席者等：出席委員16名、代理出席5名、事務局3名

【会議要旨】 ※ [] 内は話者。

1. 開会〔課長〕
2. 会長あいさつ〔会長〕
3. 議事

### （1）小林市地域公共交通事業の見直し方針（案）について 【資料1】 【資料2】

＊前会議（10月17日開催）からの修正箇所について、事務局が説明

<質疑>

〔A委員〕

コミュニティバスと福祉バスの「運行形態の統一」は、路線を繋ぐということか。

〔事務局〕

利用料金を含めた市民目線での統一であり、幹線交通を補完するコミュニティバスと福祉バス（支線交通）を繋ぐというものではない。

〔A委員〕

見直し方針を決定する前に、地域住民との協議が必要ではないか。

〔事務局〕

提案している見直し方針は、検討の結果実施が決まった場合のスケジュールである。今後、地域住民との意見交換の場を設ける予定。

〔A委員〕

乗合タクシー廃止後の対応等はどうするのか。

〔事務局〕

実証実験の結果を踏まえて、一旦廃止とすることとした。路線バスの「湾津」停留所が付近にあるため、地域の交通手段が完全になくなることにはならないと考えている。

〔承認〕

〔事務局〕

令和2年度以降については、この見直し方針に沿って事業を進めていく。

### （2）福祉バスの運行見直し（案）について 【資料3】

＊資料に沿って野尻庁舎住民生活課が説明

〔B委員〕

事前予約で運行するということは、「沖之尾」「星柳」両方運行するということか？

〔野尻庁舎住民生活課〕

まずは「沖之尾」のみを運行するルートで運行し、将来的に利用者が増えた場合は、事前予約等で対応していく。

〔承認〕

### (3) JR 吉都線利用促進事業について 【資料4】

＊資料に沿って事務局が説明

#### 4. その他

〔宮崎交通〕

○路線バス（2019.4～2019.12）コミュニティバス（2019.4～2020.1）累計乗車人員 【別紙】

〔小林警察署〕

○高齢者運転免許返納状況(小林市)

H29	205 件	H30	210 件	R1	236 件
-----	-------	-----	-------	----	-------

○コミュニティバス「運転免許証自主返納者」特典交付状況

H29	74 件	H30	71 件	R1	99 人
-----	------	-----	------	----	------

〔C委員〕

2月1日からタクシー料金の値上げを実施した。現金以外の支払いなど、決済の流れも変わってきている。ご理解をお願いしたい。

〔D委員〕

路線バス「宮崎空港線」朝の乗車人員が満席であり、座ることができない生徒がいる。今後の対応等について、どのように考えているか。

〔E委員〕

状況は確認している。1便増便するとなると経費（人件費等）が増えることから現状では厳しいため、貸切車両 60 人乗りを 2 台導入した（既存 55 人乗り）。できる限りの対応はしている。

〔F委員〕

宮崎市・都城市など市外の高校に通学する生徒も多いと聞いている。その生徒に対する助成等については、行政はどのように考えているか。

〔事務局〕

市内高校の通学促進や市内の経済効果等も考慮し、市内の高校に通学する方のみ対象にしている。現状では、市外の高校に通学する生徒を対象にする予定はない。

〔F委員〕

サイクルロゲイニング（2/29）については、まちづくり(株)で企画をしている。定員を遙かに上回る申込をいただいております、実行委員会としても安全にイベントができるように準備を進めている。このイベントを始めとして、通常の車両に自転車を簡単に乗せることができれば、通学のハードルも下がり（高校に通学する生徒は自転車を 2 台保有している実情）、吉都線の利用促進にもつながるのではないかと考えている。

〔A委員〕

コミュニティバス「奈佐木」停留所について、安全面を考慮（事故が起こっている）し、移設をお願いしたい。

〔E委員〕

カーブ付近のため、移設は厳しいと考えている。警察の許可が必要。

〔事務局〕

現場を確認させていただき、検討させていただきたい。

#### 5. 閉会〔課長〕

＊終了後、(株)ミライガタリ及び下沖市議より「AI 相乗りタクシー」の説明有り。